

# グンゼラブアース倶楽部

2021年度 活動報告



明日をもっと、**こ**こちよく

**GUNZE**



いつもラブアース倶楽部の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

グンゼは人間尊重の精神に則り、過去16年間、製品及びサービスの提供だけでなく、社会貢献活動に協力してきました。

グンゼが「サステナブル経営」を標榜する中、ラブアース倶楽部活動が誰一人取り残されず幸福な生活を目指せる、持続性のある社会を築く一助になれるよう、さらに努力を重ねてまいります。

2022年 6月

代表幹事 **吉鹿 央子**

## CONTENTS

### 活動報告

2021年 活動内容 / 決算・監査報告 / 支援先団体について

P2

### 支援先紹介

認定特定非営利活動法人 ロシナンテス  
認定特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会  
認定特定非営利活動法人 AMDA  
公益社団法人 Civic Force  
認定特定非営利活動法人 J.POSH  
認定特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル  
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
一般財団法人 みらいこども財団  
公益財団法人 Save Earth Foundation  
認定特定非営利活動法人 樹恩ネットワーク

P4





## ■支援先団体について(計10団体)

2021年度は10団体に対して合計1,987,754円の支援を実施いたしました。

支援先	支援回数	現金支援	物品支援	
				備考
ロシナンテス	18	○	○	肌着
日本クリニクラウン協会	15	○		
AMDA	12		○	肌着
CIVIC FORCE	10	○		
J.POSH	10	○	○	肌着
ブリッジフォースマイル	6		○	肌着
セーブ・ザ・チルドレン	5	○		
みらいこども財団	4		○	肌着
Save Earth Foundation	2		○	苗木
樹恩ネットワーク	1		○	苗木



本業を活かした持続可能な支援という方向性に基づき、2021年度におきましても  
 グンゼの事業やサービスを有効に活用した支援先7団体を含む10団体への支援を  
 実施いたしました。会員の皆さま、誠にありがとうございます。

今後も会員の皆さまのご意見をいただきながら、よりよい支援活動ができるよう運  
 営してまいりますので、これからも変わらぬご支援をお願いいたします。

グンゼラブアース倶楽部 事務局





## ■2021年度活動報告

アフリカのスーダン・ザンビアで支援活動を行っています。スーダンでは川や地下水がない地域の診療所が抱える水の問題を解決するための水事業と、崩壊寸前の校舎を安全な学びの場にするための学校建設事業を中心に進めました。ザンビアでは、出産前後の妊産婦さんが寝泊まりし、安全に出産することができるようにする妊産婦待機施設の建設が完了し、小型エコーの導入なども実施することができました。

## ■今後の活動予定について

スーダンでは、進めてきた水事業がまもなく完了し、診療所で十分な水が使えるようになる予定です。また、学校事業についても年度内の完成を目指しています。

そのほか、難民・国内避難民居住区を含む村落部の医療アクセス向上を目指すプロジェクトも実施します。ザンビアでは、妊産婦待機施設で安全な水が使えるよう井戸の掘削を行うほか、近隣地域での小型エコーの導入を進める予定です。

## ■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

活動地であるスーダン・ザンビアで活用予定でしたが、政情不安や新型コロナの影響による輸送費の高騰などの影響を受け、

輸送を断念いたしました。心よりお詫び申し上げます。ご縁をいただき、地域で暮らす市民の福祉向上と地域社会の活性化につながる活動を行うNPO法人いるか様を通して、福岡県内の児童養護施設へ配布を行いました。「家庭から物を持って来られない場合も多く、本当に助かります。」などのお礼をいただきました。

## ■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

長引くコロナ禍での変わらぬご支援に職員一同感謝申し上げます。また、国内での配布をご快諾いただきましたことにも、改めて御礼申し上げます。厳しい状況にある人々に寄り添えるよう、引き続き尽力してまいります。

認定特定非営利活動法人  
ロシナンテス

<https://www.rocinantes.org>

〒802-0082

福岡県北九州市小倉北区古船場町1-35

北九州市立商工貿易会館 7F

TEL 093-521-6470





## ■2021年度活動報告

コロナ禍で、入院中の子どもたちは、面会やプレイルームの使用など遊びや交流の機会が制限されています。感染のリスクなく「子ども時間」を届けたいと、「YouTube動画配信」「ライブ配信」、クリニックラウンの部屋と子どもの病室をWebでつなぐ「Web訪問（バーチャル訪問）」を実施しました。病棟スタッフと協働し、Webを活用しながら、一瞬でも病気のことを忘れて、子どもがこどもらしく過ごせる「子ども時間」を届けています。

## ■今後の活動予定について

クリニックラウンWeb訪問では、定期的に訪問することで病棟スタッフとの連携が深まっています。スタッフからは、「子ども同士の交流の機会になる」「見たことのない笑顔がみれた」という感想があり、今後も継続の希望を頂いています。通信環境が整っていない小児病棟には、タブレットを貸し出し、クリニックラウンWeb訪問や面会に活用していただき、これからも、子どもたちや家族が笑顔になれる療養環境を支えていきます。

## ■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

グンゼラブアース倶楽部様からのご支援は、クリニックラウンWeb訪問の通信費や会場費など「クリニックラウンWeb事業」の一部に

活用させていただきました。2021年度クリニックラウンWeb訪問は、全国17病院と9施設・団体に196回行い、入院中、自宅療養中の子どもたち1580名と関わることができました。小児病棟ではいまだ面会の制限が続いており、今後も病棟スタッフの方々と協力して、子どもたちが笑顔になれる時間を届けていきたいです。

## ■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

コロナ禍の入院中の子どもたちのために継続してご支援していただき本当にありがとうございます。これからもみなさんと一緒にたくさんの「子ども時間」を小児病棟に届けていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

認定特定非営利活動法人  
日本クリニックラウン協会

<http://www.cliniclowns.jp>

〒530-0053

大阪府大阪市北区末広町3-11 天しもビル3B

TEL 06-4792-8716





## ■2021年度活動報告

新型コロナウイルス感染症医療支援として、岡山県一時療養待機所と沖縄県高齢者施設へ看護師を派遣。国外ではブータンへ感染対応の防護具の提供、ネパールへ医療資材を提供、マレーシアではコロナワクチン接種プログラムを支援するなどの活動を行いました。AMDA支部とハイチ地震、フィリピン台風18号の自然災害の緊急支援活動を実施。ロシアからの戦闘によるウクライナ避難者には、ヘルプセンターでの診療と医薬品の提供、そのほか現地団体に車両を提供しました。

## ■今後の活動予定について

緊急医療支援活動を中心とし、復興支援活動や大規模災害対応準備として防災訓練、備蓄食糧の充実、災害支援体制の強化を図ります。海外において中長期でカンボジア、インドピースクリニックのプライマリーヘルスケア事業、モンゴルやネパールでの医療技術移転事業、友好病院事業、さらには、インド、インドネシアの生活支援などを計画しています。また、国内では子ども食堂、中高生会などの教育支援を計画しています。

## ■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

2021年度にご寄贈いただきましたグンゼの肌着は、東日本復興支援事業の一つとして宮城県にあるホームレス支援団体 仙

台夜回りグループの協力のもと、路上生活者、生活困窮者を対象に、シャワーの機会の提供とあわせて肌着をお渡ししました。子ども食堂支援では、男女サイズ別になっている子どもたちの肌着を持って帰っていただきました。お母さんたちから「子どもの成長に合う肌着はうれしい。ありがとうございます。」と感想が寄せられました。

## ■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

肌着は、グンゼラブアース倶楽部様のあたたかな思いと一緒に食料や日用品の支援を必要としている人たちに、お届けすることができました。継続したご支援は大変心強く、感謝と御礼申し上げます。

認定特定非営利活動法人  
AMDA(アムダ)

<https://amda.or.jp>

〒700-0013

岡山県岡山市北区伊福町3-31-1

TEL 086-252-7700



佐賀・武雄の児童支援事業所「ガラバゴス」との協働事業



熱海移動支援

熱海移動支援



熱海移動支援



佐賀豪雨ニーズ調査



佐賀豪雨202108物資支援

## ■ 2021年度活動報告

2021年7月に静岡県熱海市で土石流被害、8月に九州などで豪雨被害が発生しました。熱海では被害を受けた伊豆山地区や避難所で暮らす被災者に向けて、無償の臨時バスや送迎車の運行、タクシーチケットの配布などの移動支援や物資提供を行いながら、地域のニーズに合わせた活動を展開しました。九州では、拠点を置く佐賀県の武雄市や大町町の避難所や在宅避難者へ物資支援などを行い、障がい児支援施設の復旧をサポートしました。

## ■ 今後の活動予定について

2021年の豪雨被災地を引き続きサポートします。また、2011年東日本大震災の被災地において「記憶の伝承」「福島復興・保養」「コミュニティ再生」という3テーマを軸に地域のNPOと連携した活動を行います。また、コロナ禍で苦しい状況に追い込まれている人たちへの支援や企業と連携した備蓄の強化、次の災害に向けた準備の活動にも力を入れています。

## ■ グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご支援は2021年の豪雨被災地支援活動や新型コロナウイルス感染症の支援活動、また被災地のNPOと連携して復旧・復興

を後押しする「NPOパートナー協働事業」の事業費や運営費として活用させていただきました。NPOパートナー協働事業は、災害時に専門性を発揮する団体や被災地で活動する団体などとともに、緊急支援では行き届かなかったニーズに広く対応する仕組みです。

## ■ グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

2011年3月11日の東日本大震災以降、長年のご支援に感謝申し上げます。毎年のように災害が発生していますが、これからも共に備え、一緒に被災地を支えてください！

公益社団法人  
Civic Force (シビックフォース)

<https://www.civic-force.org>

〒151-0063

東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階

TEL 03-5790-9366





■2021年度活動報告

ピンクリボン運動を通じて乳がんで悲しむ人を無くすことを目標に、乳がんの正しい知識の普及や自己検診による早期発見ため、リーフレットやポスターの無償配布、啓発ティッシュの無償提供(202団体)、啓発パネル+乳がん触診モデルの貸出などの活動を実施しました。10月第3日曜日に乳がん検診を実施できる医療機関を募るJ.M.S(ジャパン・マンモグラフィーサンデー)を継続実施。乳がんで治療中や死亡した保護者を持つ高校生の支援「奨学金まなび」も対象者数を増やしました。

会の4支部に送りました。21年度は、コロナ禍で集まることができなかったのですが、会の再開に伴い配布するとのことで、感謝の言葉をいただいております。

■今後の活動予定について

- 乳がん検査率向上のためJ. M. S賛同医療施設の増加
  - 奨学金まなびの支給者も、昨年と同じく85名に支給
  - 未就園の乳幼児を持つ患者さまに6万円を支給。
  - 乳がん啓発団体、患者会への5万円の助成金の支給
  - ベースプログラムのリーフレット・ポスター・啓発ティッシュの無償提供
- コロナ禍が落ち着いた状況を想定し、実施プログラムへの参加者の増加を予定しています。

■ガンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

毎年メディキュア製品を支援いただきありがとうございます。商品は患者会様に順次送っており、商品を手にした皆さまからは感謝の言葉をいただいています。今後も全国の患者会様に送ることができたら幸いです。引き続きご支援をよろしくお願いいたします

■ガンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

メディキュア製品を、20年度分と合わせて若年性乳がんの患者

認定特定非営利活動法人  
**J.POSH**  
<https://www.j-posh.com>  
 〒538-0043  
 大阪府大阪市鶴見区今津南2-6-3  
 TEL 06-6962-5071



### ■2021年度活動報告

前年度に続き、実地開催とオンラインを併用した活動となりました。一人暮らし準備セミナーや就労体験は内容を改善しながら進めてきていて、オンライン実施の良さも実感できるようになりました。一方で2年ぶりに振袖イベントを実地開催するなど、可能なところから対面での取り組みを再開しています。コロナ禍の支援として直接つながっている若者に加え、全国の児童養護施設などに呼びかけ、希望のあった521名に生活必需品を送りました。

### ■今後の活動予定について

子ども支援は行政との新たな取り組みも始まり、今後も拡充予定です。親を頼れない子どもたちの理解者を増やすべく、本年も当事者スピーチイベント『コエール』を開催するなど、オンラインイベントや企業内講演などの啓発活動にも更に力を入れていきます。コロナ禍でオンライン実施となった退所者向けイベントは実地開催を再開しました。企業と協働する就労体験『ジョブプラクティス』や『インターン』についても実地開催を模索しています。

### ■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご寄付いただいた製品は、18歳(高校卒業)で児童養護施設・里親家庭を巣立つ子どもたちに団体の寄付仲介サイト『トドクン』を通しプレゼントしました。親を頼れない環境で一人暮らしをはじ

める子どもたちは、アルバイトで貯めたお金はなるべく残しながら、家電や家具などの一式を揃える必要があります。貴社の製品のような生活必需品の贈り物は、経済的な負担軽減だけでなく、新生活に向けた応援にもなります。

### ■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

住み慣れた場所を離れて日々がんばる子どもたちへ、良質なインナーウェアを届けることができ嬉しいです。継続的なご支援、誠にありがとうございます。

認定特定非営利活動法人  
ブリッジフォースマイル

<https://www.b4s.jp>

〒100-8228

東京都千代田区大手町2-6-2

(株式会社パソナグループ本社内)

TEL 03-6842-6766





イエメンの「こどもひろば」でアートクラスに参加する子どもたち

© Save the Children



食の応援ボックス発送に向けた準備の様子



ウクライナ危機支援

© Dan Stewart / Save the Children

## ■2021年度活動報告

日本を含む世界約120ヶ国で活動し、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大や紛争、気候変動などの影響を受ける子どもたちに支援を届けました。海外では教育や保健・栄養、防災、子どもの保護などの分野における支援活動に加え、ウクライナ危機など緊急下で生きる子どもたちへの支援も行いました。日本では貧困問題解決に向けた活動や子どもの虐待予防など子どもを取り巻く課題の解決に向けた取り組みを進めました。

## ■今後の活動予定について

今、世界では6人に1人の子どもが紛争下で生活し、身体的被害、深刻な精神的苦痛、避難を余儀なくされているという重大な危険に晒されています。日本では7人に1人の子どもが相対的貧困下にあります。2022年も引き続き、子どもの生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現された世界を目指し、活動してまいります。

## ■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ゲンゼラブアース倶楽部さまからのご寄付は、日本と世界の子どもたちのための活動に広く活用させていただいております。ウクライナをはじめ紛争や自然災害の影響を受ける子どもたちの支

援、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける日本の子どもたちとその家族への緊急支援(夏休みや冬休みなど給食がなくなる長期休暇期間にあわせて配布した「子どもの食 応援ボックス」事業)などに活用させていただきました。

## ■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。私たちの子どもの誰ひとり取り残さない世界を目指す活動は、皆さまからのサポートで成り立っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人  
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

<https://www.savechildren.or.jp>

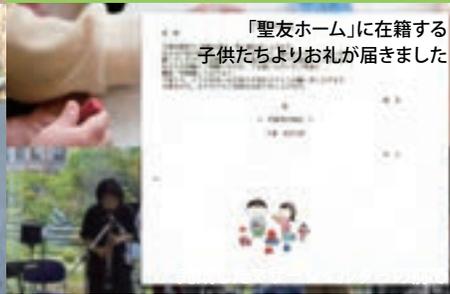
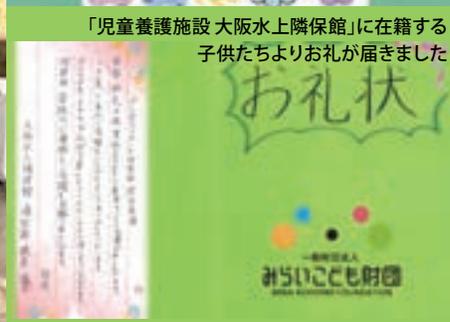
〒101-0047

東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F

TEL 03-6859-0070



Save the Children  
セーブ・ザ・チルドレン



## ■2021年度活動報告

コロナ禍ではありましたが新しい活動をスタートさせました。

- 1、コロナ緊急支援金として1,000万円以上を300名以上の児童養護施設卒園生に支給
- 2、オンラインを活用したボランティア活動
- 3、施設を卒園した学生とオンラインで交流しながら支援するオンライン里親

いずれも各施設さまからは高い評価をいただいています。

従来の児童養護施設訪問については、2022年に入り、活動を再開しています。

## ■今後の活動予定について

2022年以降は、オンラインを活用したボランティアに力を入れてまいります。全国にいる児童養護施設の子どもたちの支援を、世界中どこにいても実現することができる仕組みをつくります。

同時に従来の訪問して信頼関係を構築するボランティアも行い、相乗効果を狙って全国に活動を広げる計画です。

## ■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ゲンゼラブアース倶楽部様から寄付いただいた製品は、関東地区の聖友ホーム様、関西地区の遙学園様にお送りいたしました。

両施設様とも多いに喜んでいただきました。消耗品である下着は、普段、子供たちが自腹でお小遣いから購入しているとのことで、「いくらあってもありがたい」というお声をいただいています。

## ■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

コロナ禍において子どもたちの様々な機会が制限されましたが、このような状況の中でも変わらずご支援いただける企業様がいることに、みらいこども財団のボランティア300名一同勇気をいただくとともに感謝しております。

今後ともご支援のほどよろしく願いいたします。

一般財団法人  
みらいこども財団

<https://miraikyouso.com>

〒530-0004

大阪府大阪市北区堂島浜1-1-15

TEL 06-6344-3345





■2021年度活動報告

私たちは、森林の再生保全、森林資源の利活用、森林環境教育を行うことで、自然の恵み豊かな社会の実現を目指しています。今年はコロナの影響を受け、全国的にイベントや活動が中止となるなか、国土緑化推進機構のガイドラインに準拠した森林ボランティア活動の企画運営に努めました。その成果として、2021年度は、総勢161人の方にご参加いただきました。

■今後の活動予定について

現在、森林保全協定を締結している4地域6か所(約84ha)の森は、それぞれ特徴があります。スギやヒノキの人工林では間伐、植樹、下草刈、枝打ち等の活動を行うことで、将来世代に良質な木材資源を残す活動を継続して行っていく予定です。里山林では在来種が生息できる環境づくりを目指し、自然環境調査に基づき、特定外来種の抜き取り作業を行っていく予定です。また、地域産の木材をつかって勉強機をつくるイベントや、親子で自然について学ぶ森林環境教育にも力を入れて活動していきます。

■ゲンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご支援頂きました千葉県産の苗木は、千葉県山武市と協定を締結し、森林再生保全活動を行う「日向(ひゅうが)の森(千葉県山武市)」に植樹させて頂きました。コロナの影響もあり2022年5

月15日(日)に植樹会を開催しました。

杉の人工林から、針広混交林への移行を計画していたので、ガンゼ様からの広葉樹の苗木寄贈のご提案には本当に感謝しています。

■ゲンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

この度は、千葉県産広葉樹の苗木をご寄贈頂き、本当にありがとうございました。ご寄贈頂きました苗木をしっかりと育てる活動を通じて、CO<sub>2</sub>吸収固定と同時に生物多様性にも配慮した森づくりを行っていきます。

公益財団法人  
Save Earth Foundation

<https://save-earth.or.jp>

〒144-0043

東京都大田区羽田1-1-3 大鳥居京急第一ビル

TEL 03-5737-2744



美しい地球を子どもたちに残したい

公益財団法人 Save Earth Foundation



## ■2021年度活動報告

過疎化が進む全国各地の農山村地域で、森林ボランティア活動「森林の楽校(もりのがっこう)」および援農ボランティア活動「田畑の楽校(はたけのがっこう)」などを行っています。2021年度はコロナ禍の影響で森林の楽校は17ヶ所27回の予定が12ヶ所16回に。田畑の楽校は4ヶ所19回の予定が2ヶ所7回の開催となりました。オンラインボランティアプログラム「雲の上 森林の楽校」は4回開催しました。



## ■今後の活動予定について

森林の楽校18ヶ所(秋田、福島、群馬2、埼玉、千葉、東京、新潟、富山、福井、長野、岐阜、京都、兵庫、徳島、香川、高知、佐賀、長崎)31回、田畑の楽校4ヶ所(山梨、長野、三重、和歌山)19回の開催予定です。1998年から取り組む、日本の森林を守り、障害者の仕事をつくる「国産間伐材製『樹恩割り箸』」は、コロナ禍で利用が減っています。そこで、前年同様、利用を広げるためのオンラインボランティアプログラムも実施予定です。

## ■グンゼラブアース倶楽部からの支援の用途について

ご支援いただきましたエノキ、クヌギ、コナラ、ミズナラ、ムクノキ、

モミジの苗木は、「森林の楽校」の一つである「風の谷 森林の楽校」を開催する岐阜県揖斐郡揖斐川町の廃校活用施設「ラーニングアーバー横蔵」周辺に植えています。3月26日(土)~27日(日)の「森林の楽校」の際に最初の植樹を行い、2022年度も継続して植えていきます。

## ■グンゼラブアース倶楽部へのメッセージ

この度は、苗木を通じて活動をご支援いただき、誠にありがとうございました。都市と農山漁村が支え合う、持続可能な社会を目指して、これからも活動を行って参りますので、応援をよろしくお願いいたします。

認定特定非営利活動法人  
樹恩ネットワーク

<http://juon.or.jp/>

〒166-8532

東京都杉並区和田3-30-22 大学生協杉並会館5F

TEL 03-5307-1102





平素より、当倶楽部の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
2022年度も引き続き、ご協力賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。  
グンゼラブアース倶楽部は、随時新規会員を募集しております。ひとりでも多くの  
方々に活動のご理解をいただくことができますようお声がけをお願いいたします。